



画面作成ソフトウェア GP-Pro EX Ver.4.09.100 E-mail送信機能のご紹介

装置の異常発生時や、定期的な予知保全情報配信に大活躍

Pro-face製HMIにE-mailを送信機能を追加！

GP-Pro EXの最新アップデート（Ver.4.09.100）により、SMTP（TLS / SSL）サーバー経由でのE-mail送信を、Pro-face製HMIに設定できるようになりました。E-mailに様々なデータを付加でき、**エラー時の状況把握**や、その後の**原因究明・復旧作業の迅速化**など、**ダウンタイム削減**に貢献します。



対応シリーズ： SP5000シリーズ / SP5000Xシリーズ
GP4000シリーズ（GP4000M、GP4100、GP-4201TWを除く） / GP4000Hシリーズ
IPC（PC/AT互換機を含む）

多様なE-mailの送り方が設定可能

> トリガー条件設定

任意の条件をトリガーとして設定することができます。

例) アラーム発報時 / 監視したいアドレスが閾値を超えた場合 / サンプルデータのCSVファイルを保存した時
HMI画面上に配置したスイッチを押した時

> 宛先設定

- 1つのグループで、To、Cc、Bccにそれぞれ、最大16人（アドレス）宛にE-mail送信が設定可能です。
- 複数のメールアドレスを1つのグループとして登録可能。送信先グループは最大255個まで作成できます。

> 送信元サーバー設定

送信元サーバーが設定できます。

現在主流となっている、セキュリティーや認証（587番ポートや465番ポートなど）を必要とするサーバーにも対応しています。

送信元サーバー接続実績
(2019年7月時点)

| 送信サーバー | Gmail | Yahoo mail |
|---------------|----------------|-----------------------|
| SMTPサーバー | smtp.gmail.com | smtp.mail.yahoo.co.jp |
| ユーザー名 | 任意 | 任意 |
| パスワード | 任意 | 任意 |
| 差出人E-mailアドレス | 任意@gmail.com | 任意@yahoo.co.jp |
| ポート番号 | 587 | 465 |
| 認証モード | 自動 | 自動 |
| 暗号化 | STARTTLS | SMTPS |

幅広いデータ送信を実現

> HMIが持っている情報をメールに付加

- 外部機器デバイスからの情報を自動的に付加できます。
 - アラームをトリガーにした場合、アラームメッセージと監視アドレス値をメール本文に付加。
 - 件名やメール本文に外部機器アドレスやシステム変数を任意に挿入可能。
- Pro-face Remote HMI (Android OS/iOS) の登録サーバー画面の起動が可能です。***1**
- 件名499文字・本文4999文字まで入力可。
- 多言語にも対応 (日本語・欧米・繁体字・簡体字・韓国語・タイ語・キリル文字)

> 各種ファイル添付に対応***2**

- CSVやキャプチャー画像などのファイル添付が可能です。
 - サンプリングや操作ログ、画面キャプチャーも同時に確認できるので、エラー時の状況を正確に把握し、ダウンタイム削減につながります。
- 送信設定するトリガーに合わせて、ファイルを自動添付できます。
(アラーム履歴のCSV保存、サンプリングのCSV保存、任意アドレスのファイル添付)



*1 Pro-face Remote HMI Ver.1.5 (2020年発売予定) から対応

*2 最大5個までファイルを添付することができます。添付できるファイルサイズは、合計3.6MBまでです。超過する場合は、ステータスエラーとなり E-mail送信できません。

強固なセキュリティ

> 暗号化対応

- STARTTLS (587番ポート)、SMTPS (465番ポート) に対応。

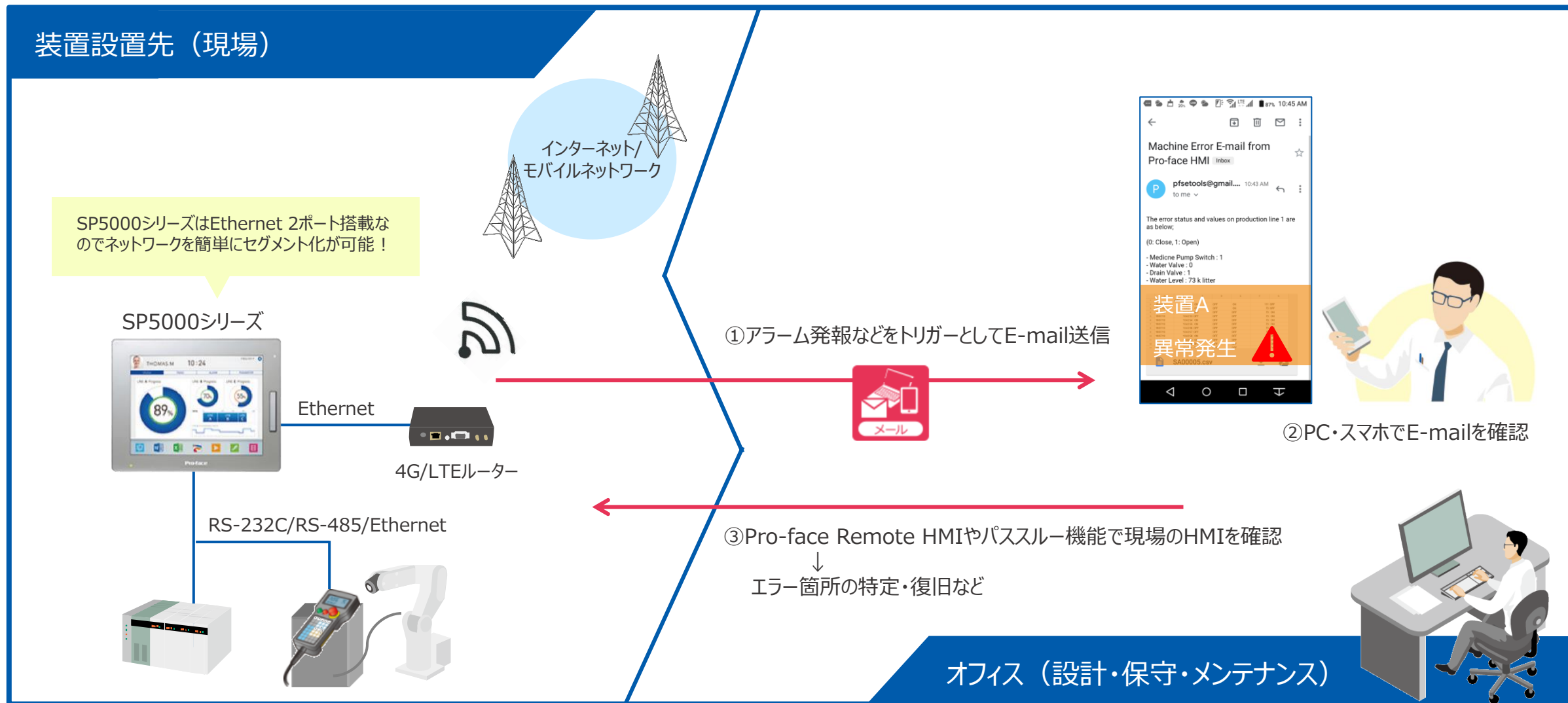
> 認証モード

- Auto、LOGIN、PLAIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 での認証に対応。

> SSL証明書

- SSL証明書 (ルート証明書)対応。





装置の異常発生時や、定期的な予知保全情報配信など、幅広い用途にE-mail送信機能を活用ください！



Pro-face

by Schneider Electric